

令和6年度 第1回 周南市地域づくり推進協議会 会議録

1. 日 時 令和6年8月28日(水) 18時30分～19時30分
2. 場 所 周南市本庁舎2階 共用会議室G
3. 出席者 内山浩昭 委員、岡部由加 委員、小林和子 委員、齊藤英一郎 委員、
坂根美音 委員、末田真由美 委員、竹尾真実 委員、難波利光 委員、
沼田早紀 委員、藤本賢司 委員、船崎美智子 委員、渡辺明彦 委員
(計12名)
3. 欠席者 佐藤幸宏 委員、竹内裕光 委員、藤井蔵吉 委員
(計3名)
4. 事務局 地域振興部 上野、福田
地域づくり推進課 神杉、柴田、福田
5. 傍聴者 なし
6. 会議内容

開 会 事務局が司会進行

- 市民憲章唱和
- あいさつ 地域振興部長
- 委員・事務局紹介
- 会長・副会長選出（会長に難波利光 委員、副会長に船崎美智子 委員が就任）

議 事

発言者	発言内容
会 長	これより議事に入る。 それでは次第に沿って進める。 はじめに、議事の ア) 地域づくり推進協議会委員の役割及び年間スケジュール について、事務局より説明をお願いします。
事務局	(別紙資料をもとに説明)
会 長	事務局からの説明に対し、何か不明な点や質問はないか。
委 員	(発言なし)
会 長	続いて、議事の イ) 地域づくり推進計画の評価方法及び進捗状況 について、事務局より説明をお願いします。

発言者	発言内容
事務局	(別紙資料をもとに説明)
会 長	事務局からの説明に対し、何か不明な点や質問はないか。
委 員	地域づくりの機運醸成のために、市民向けの地域づくり講演会、出前トーク、地域創発会議を開催しているが、参加者の男女比や年齢層は。
事務局	<p>現在、手元に詳細なデータがないため、後日確認の上、委員の皆さまに共有させていただく。</p> <p>【後日確認後、共有した内容】</p> <p>市民向けの地域づくり講演会は、延べ 117 名（男性 81 名、女性 36 名）の参加があり、60 代から 70 代の方々が多く参加されています。</p> <p>出前トークは、岐山小学校 6 年生（75 名）と鹿野小学校 6 年生（7 名）が参加しています。※男女比不明</p> <p>地域創発会議は、延べ 20 名（男性 16 名、女性 4 名）の参加があり、60 代から 70 代の方々が多く参加されています。</p>
委 員	大津島地区で「生活支援サービスセンター：しまさぽ」が運営されているが、現状と課題について分析はしているか。
事務局	地域住民だけでの地域づくり活動が困難になっているため、大津島の出身者の方々の協力を得て、生活支援サービスに取り組まれている。協力される方も年齢層が上がっており、担い手の確保が課題であると認識している。
委 員	徳山北部拠点施設はどういった施設か。
事務局	須々万地区にある支所・市民センターの建て替えにあわせて、複数の機能を持った施設として整備をすすめている。具体的には、支所・市民センターの機能に加え、認定こども園や北部の地域包括支援センターにも入っていただくことを予定している。
会 長	<p>大学としては関係人口を非常に重要視しており、学生の方々が周南地区に定住していただくことを目標の 1 つとしている。特に、学生の時に、地域の人と密接な関わりを持つことで、親和性が生じ、このまちで仕事をしたいといったことにも結びつく。また、周南地区で卒業後すぐに就職しなかったとしても、何年後かにまた周南地区に戻って、何かをしたいと思うきっかけづくりにもなる。</p> <p>他にも若い女性をいかに地方に食い止めるのかといったことも重要であり、製造業からサービス業への産業構造の転換も 1 つの打開策になると考えられる。コミュニティビジネスを含めサービスのものを起業することによって、地元に残るきっかけづくりを行っていくことが重要と考える。これは広く人口問題にも関係するテーマであるため、今後の進行の中でご留意いただきたい。</p>

発言者	発言内容
委員	地域づくりの新たな担い手について、発掘・育成されたリーダー的な人材の数が 28 人と資料に記載があるが、どういった方々が含まれているか。
事務局	<p>現在、手元に詳細なデータがないため、後日確認の上、委員の皆さまに共有させていただく。</p> <p>【後日確認後、共有した内容】</p> <p>発掘・育成されたリーダー的な人材は、28 名であり、40 代から 60 代の方々が中心となっています。男女比は男 6 : 女 4（男性 17 名、女性 11 名）となっております。</p>
会長	他に不明な点や質問はないか。
委員	(発言なし)